申告誤りが多い事例

- 汚染負荷量賦課金申告において、申告誤りが多い事例についてまとめております。申告の際には数値の取扱等、十分ご注意ください。

申告書の記載誤り

1. 汚染負荷量賦課金額の端数処理誤り

汚染負荷量賦課金額の計算の際には、以下の端数処理誤りにご注意ください。

- ▶ 過去分硫酸化物排出量（累積換算量）× 過去分賦課料率 で1円未満を四捨五入

正しくは**1円未満切捨て**

(例①) $41,233 \times 51.02 = 2,103,707.\underline{66}$ **2,103,707円**

- ▶ 現在分硫酸化物排出量（前年の排出量）× 現在分賦課料率 で1円未満を四捨五入

正しくは**1円未満切捨て**

(例②) $31,163 \times 128.12 = 3,992,603.\underline{56}$ **3,992,603円**

- ▶ 合計賦課金額 の100円未満を四捨五入

正しくは**100円未満切捨て**

(例③) $2,103,707 + 3,992,603 = 6,096,310$ **6,096,300円**

2. 硫酸化物排出量の記載誤り

硫酸化物排出量を申告書に転記する際には、以下の誤りにご注意ください。

- ▶ 算定様式にて算出した硫酸化物量の合計値で小数点第一位を四捨五入する端数処理誤り

正しくは**小数点以下切捨て**

(例④) 硫酸化物排出量 31,163.56 → 現在分硫酸化物排出量 **31,163 m³N**

※オンライン申告の場合、申告書雛型ファイルの「算定様式の排出量取り込み」ボタンをご活用ください。

【入力例】

⑤ 汚染負荷量 賦課金の計算	(イ)硫酸化物排出量		(ロ)単位排出量当たり賦課金 (円/立方メートル)		(ハ)=(イ)×(ロ)汚染負荷量賦課金額			
	過去分	累積換算量(立方メートル/算定基礎期間) 百万 千 m ³ N	円	銭	十億	百万	千	円
		41 233	51.02			① 2	103	707
	現在分	④ 31 163	128.12			② 3	992	603
⑥延納の申請	(イ)する (ロ)しない				合計	③ 6	096	300

※ (ロ) 単位排出量当たり賦課金 (円/立方メートル) は例です。

金額は別途配布の「汚染負荷量賦課金の申告・納付のお願いについて」をご覧ください。

※汚染負荷量賦課金の納付は申告書に記載した金額と同じ額を納付してください。

申告書の記載誤り等により、申告額と納付額が異なっていることがあります。

オンライン申告の場合は入力後に必ず入力チェックを行い、「入力チェック完了」と表示された後の金額を納付してください。

算定様式（D様式）の作成に関する注意点

1. 清掃工場の焼却量の水分補正

D様式（a）にて算定様式を作成し、廃棄物の硫黄分に**標準的硫黄分**を適用している場合は、焼却量を水分補正する必要があります。

清掃工場で実施しているごみ質分析の水分（W）の結果から、下記の計算式で水分補正を行ってください。

計算式

$$\boxed{\text{補正後の焼却量 (kg)}} = \boxed{\text{焼却量 (kg)}} \times \frac{100 - W}{100 - W_0}$$

W：焼却時に分析した水分（%）

W₀：標準的硫黄分一覧に記載した平均的水分（%）

※都市ごみの場合、平均的水分（W₀）は**60%**です。

2. 排出ガス測定の測定回数

D様式（b）にて算定様式を作成する場合は、**焼却施設ごとに原則2か月に1回以上**の排出ガス測定を実施する必要があります。

排出ガス測定の回数を満たさない場合は、算定様式の変更（D様式(a)への変更）をご検討ください。

施設、燃原料の申告漏れ

1. 申告漏れの多い施設

工場、事業場内に設置している以下の施設等についても申告が必要ですので、申告漏れにご注意ください。

※**大気汚染防止法の対象外施設**についても、全て申告の対象になります。

- ✓ 非常用発電機
- ✓ 消火用施設の動力源として用いている設備
- ✓ 空調・給湯等小型貫流ボイラー

2. 申告漏れの多い燃原料

工場、事業場内で使用している以下の燃原料についても申告が必要です。

※硫黄分が0.01%未満の燃原料等についても申告の対象になります。

- ✓ 灯油、軽油
- ✓ 都市ガス
- ✓ LPG、LNG
- ✓ 製造原料

端数処理誤り

- 申告書類において、数値の端数処理誤りが多くみられます。申告にあたっては数値の端数処理を再度ご確認の上、十分ご注意ください。

申告書	
現在分 SOx 排出量 (m ³ /h)	小数点以下切り捨て
過去分賦課金額・現在分賦課金額 (円)	1 円未満切り捨て
合計賦課金額 (円)	100 円未満切り捨て

A 様式・B 様式・C 様式・D 様式	
使用量 (ℓ・kg・m ³ /h) ※ C 様式は装入量・産出量 (ℓ・kg・m ³ /h) ※ D 様式は焼却量 (ℓ・kg・m ³ /h)	小数点以下切り捨て
密度 (g/cm ³)	小数点以下 4 けた目を切り捨て、3 けたまで ※加重平均値：上記の数値で加重平均し、その結果を JIS Z 8401 による丸めまたは四捨五入によって、小数点以下 3 けたまでとする。
含有硫黄分 (%)	● A、B、D 様式の場合 小数点以下 3 けた目を切り捨て、2 けたまで ※加重平均値：上記の数値で加重平均し、その結果を JIS Z 8401 による丸めまたは四捨五入を行い、小数点以下 2 けたまでとする。 ● C 様式の場合 ・燃 料：A 様式に準じる。 ・原材料、製品：同じ月の分析値が 1 つの場合は、小数点以下 4 けた目を切り捨て、3 けたまで ※加重平均値：上記の数値で加重平均し、その結果を JIS Z 8401 による丸めまたは四捨五入を行い、小数点以下 3 けたまでとする。
脱硫効率 (%) 補正後の脱硫効率 (%)	小数点以下 3 けた目を切り捨て、2 けたまで
SOx 排出量 (m ³ /h)	小数点以下 2 けた目を切り捨て、1 けたまで

E 様式	
平均 SO ₂ ・SOx 濃度 (ppm) SOx 濃度への補正係数 補正 SOx 濃度 (ppm) SOx 濃度測定時の平均 O ₂ 濃度 (%) 排出ガス量測定時の平均 O ₂ 濃度 (%)	有効数字 3 けたまで (4 けた以下を切り捨て)
平均排出ガス量 (m ³ /h) 補正排出ガス量 (m ³ /h) SOx 量 (m ³ /h)	有効数字 4 けたまで (5 けた以下を切り捨て)

B 様式・D 様式 (b)・b 様式	
平均 SO ₂ ・SOx 濃度 (ppm) SOx 濃度への補正係数 SOx 濃度測定時の平均 O ₂ 濃度 (%) 排出ガス量測定時の平均 O ₂ 濃度 (%)	有効数字 3 けたまで (4 けた以下を切り捨て)
適用期間中における平均燃原料使用量 測定時における燃原料使用量 補正 SOx 濃度 (ppm)	小数点以下切り捨て
平均排出ガス量 (m ³ /h) 補正排出ガス量 (m ³ /h)	有効数字 4 けたまで (5 けた以下を切り捨て)
D 様式 (b)：測定中の焼却量 (kg/h)	1kg 未満の端数は切り捨て
D 様式 (b)：1t あたりの SOx 量 (m ³ /h)	小数点以下 4 けた目を切り捨て、3 けたまで